

健康福祉審議会障害者分科会資料

令和 2 年 2 月 1 3 日

資料2

令和元年度 障がい福祉施策主要事業について

令和元年度 障がい福祉施策主要事業について

(1) 加賀市手話施策推進方針に基づく取り組み

① パンフレットの作成（1,000部）

② 啓発動画の作成

啓発動画の作成について、加賀市手話施策推進協議会、石川県聴覚障害者協会と調整中。

③ 手話に関するパネル・書籍等の展示（市役所ロビー、中央図書館、山中図書館等）

④ 手話教室・講習会・講座の開催（小学校・高校、事業所等）

(2) スマートインクルージョンの推進

① 障がい者情報一元化事業

障がい者情報の整理のため関係機関等への調査を実施した。今後は、国等の動向（障害者手帳カード化、マイナンバーの利用促進等）を見ながら事業の在り方を検討していく。

② スマートホーム事業

ベッドセンサーシステムの実証が、協力企業等の事情により中断しているため、その他の見守りシステム等について検討を行う。

③ 障がい者のテレワーク（在宅勤務）の推進

テレワーク説明会（令和元年8月28日 市民会館）を開催し、1名が雇用に結びついた。次回の説明会開催に向けて準備中。

(3) 基幹相談支援センターの運営（委託事業者 社会福祉法人朋友会）

① 総合的・専門的な相談支援の実施

ケース検討会（毎週）の開催、困難ケースにおける相談支援等

② 地域の相談支援体制の強化

相談事業所連絡会（毎月）、関係者ミーティング（毎週）の開催等

③ 地域移行・地域定着の促進

地域移行支援会議（隔月）の開催等

④ 権利擁護・虐待の防止

障がい者虐待に関する対応（随時）等

⑤ 加賀市じりつ支援協議会の運営

加賀市じりつ支援協議会運営会議（毎月）、全体会（年3回）の開催等

(4) 「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」の構築を協議する場の設置

加賀市じりつ支援協議会内に保健、医療、福祉関係者が協議を行う場を設置することについて、運営会議等で調整中。

- ・ 保健、医療、福祉関係者による顔の見える関係づくり
- ・ 個別ケース支援から見える地域課題の整理
- ・ 社会資源の開発・確保のための検討 等

(5) 地域生活支援拠点等の整備

障がいのある人の地域での生活を支援するため、5つの機能「①相談、②緊急時の受け入れ・対応、③体験の機会・場、④専門的人材の確保・養成、⑤地域の体制づくり」を備えた地域生活支援拠点等の整備に向けて、運営会議等で協議を開始。地域の既存の機能を活用しながら、賛同いただける複数の事業所と連携し、整備を図っていく。

(6) 医療的ケア児の支援のための協議

医療的ケア児が適切な支援を受けられるよう、市関係課（健康課、子育て支援課、子育て応援ステーション、子ども育成相談センター、学校指導課、ふれあい福祉課）で協議を実施。今後、市関係課のほか、保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関との連絡調整、意見交換等を行っていく。

(7) 障がい者理解のための取組

① 障害者週間街頭キャンペーンの実施

障がい者理解の啓発チラシを付けたクッキー（障がい者就労系事業所作成）を、3障がい連絡協議会、じりつ支援協議会、事業所職員、相談支援専門員、ふれあい福祉課職員が配布。

（令和元年12月8日 アビオシティ加賀 出入口付近（3か所） 500個配布）

② ヘルプマークの交付

周囲の方々に援助や配慮を必要としていることを知らせるための「ヘルプマーク」を交付。

（令和元年5月15日～令和2年1月31日 ふれあい福祉課での交付132件）

③ 市民福祉大会での講演会の開催

令和元年8月3日 市民会館 お腹の赤ちゃんを大切にする啓発講演「ダウン症の娘と共に生きて」

講師：金澤泰子さん（書家）、揮毫（きごう:毛筆で文字や絵をかくこと）：金澤翔子さん（書家）

④ よろしくトークの実施（予定）

地域で暮らす障がいのある人からのお話や、障がいの疑似体験により、障がいについての理解を深める。

令和2年3月20日 市民会館 「障がいのある人から暮らしについて聞いてみよう」

⑤ かもまる講座（職員出前講座）の実施

市が行う仕事の内容等について、市の職員が、講座を希望される団体のもとへ出向いて説明を行う。

ふれあい福祉課のテーマ「障がいのある人の支援について」（令和元年度 4回実施）